



# 「カレー」をひもとく 帝国からグローカリゼーションへ

食は往々にして様々な集団や地域「特有」のシンボルとしてイメージされる一方、食材や調理法はコンスタントに地域や大陸を超えて交流し変化してきた。そのような意味で食は常に流動し生成し続ける複雑で多層的な人やモノのあり方の表徴であり、そのものである。このような関心の元に、西オーストラリア大学より Cecilia Leong-Salobir 教授を迎え、Curry の歴史を紐解くことで、そこに現れるイギリス帝国支配下でのローカルとグローバルの相互作用を掘り下げて考察する。

## 講演

### Curry: From obscure origins to a globalized dish

講師 Prof. Cecilia Leong-Salobir (西オーストラリア大学教授)

コメンテーター 井坂理穂 (東京大学) / 海老澤圭 (早稲田大学大学院)

日時 2月9日 (日) 15:00~17:00

場所 東京外国語大学海外事情研究所 (研究講義棟 427 号室)

講演時間 40 分、使用言語: 英語

## ワークショップ

### 「東京のカレーを歩く」 カレーをめぐるスタディ・ツアー

東京に存在するさまざまなタイプのカレーをめぐる、食の歴史を専門とする Cecilia Leong-Salobir 教授と、新宿、神保町、大久保界限を歩き、見、味わいます。

集合 2月10日 (月) 10:50 新宿中村屋旧本店前

現地集合・現地解散 / 食費・交通費は自己負担

## 要予約

2月8日締切

問合・予約

yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp (山内由理子研究室)

主催 科研 (A) 批判的地域主義に向けた地域研究のダイアレクティブック  
海外事情研究所

